

[江別市] 施策達成度報告書

政策 06 市民協働によるまちづくり

施策 02 男女共同参画社会の形成

主管課 企画課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (21年度)	施策の課題 (21年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子・高齢化の進展 ・ 長引く経済状況の低迷、雇用の悪化 ・ 家族形態、産業構造、価値観等の変化 ・ 女性の社会進出 ・ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 ・ 男女共同参画に関する意識の低迷 	<p>男女共同参画に対する意識については、大きな変化がなく、成果指標に示す割合も、ほぼ横ばい状況にある。女性の社会進出や雇用形態の改善といった点については、長引く不況を反映し、なかなか進んでいない状況にある。このような状況から家庭や地域などの身近な環境から固定的な役割分担や男女不平等の解消に向けた啓発活動等の取組みを一層進めていく必要がある。</p>

施策の目的

家庭・地域・職場や行政において性別役割分担意識や男女不平等意識の解消を図り、女性の社会進出を促進します。

対象 (誰を対象とした指標か)

家庭・地域・職場・行政

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

性別役割分担意識と男女不平等意識の解消や女性の社会進出等が図られる。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
家庭・地域で男女が不平等だと思う市民割合	%	45.7	51.8			↓

施策の達成状況 (21年度)

施策の目的をあらわす指標の動きでは、前回調査した平成19年度に比べ6.1ポイント悪化した結果となったが、男女共同参画を推進するための啓発活動等に加え、男女共同参画社会の実現に向けた条例（平成21年3月30日条例第5号）の制定並びに基本計画の見直し等を行った。今後も性別役割分担意識と男女不平等意識の解消に向けて、根気強く啓発活動を中心とした取り組みを進めていくとともに、引き続き市における審議会等の女性登用拡大に向けた取り組みを進め、女性の社会進出を図っていく必要がある。

施策事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	14,469	13,379	11,499
事業費(千円)	1,932	932	1,089
人件費(千円)	12,537	12,447	10,410

01 男女平等意識の確立

基本事業の目的

社会的性別（ジェンダー）が性差別、性別による固定的役割分担、偏見等につながるものがない様、意識の変革を図るとともに様々な場面で性別による固定的役割分担意識の解消に向けた社会的合意形成を目指します。

対象（誰を対象とした指標か）

家庭、職場、地域、行政

意図（対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい）

男女の固定的役割分担意識を学校、家庭、地域、職場のさまざまな場面で解消していくことにより、男女平等に係る社会的合意形成が図られる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き（成果指標）

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
家庭生活の中で男女平等であると思う市民割合	%	36.2	37.3			↗
職場・職業で男女平等であると思う市民割合	%	19.8	18.9			↗

基本事業の達成状況（21年度）

基本事業の目的をあらわす指標の一つである、「家庭生活の中で男女平等であると思う市民割合」については、前回に比べ1.1ポイント上昇し、少なからず市民の男女共同参画に対する意識の変革が見られる結果となり、引き続き講演会の開催や広報活動等による啓発活動を進めていく必要がある。また、もう一つの指標である「職場・職業で男女平等であると思う市民割合」は、0.9ポイント減少した結果となり、その要因として経済情勢による雇用の悪化といった社会状況を反映したものであると思われる。今後とも職場環境におけるDVやセクハラ防止に向けた啓発活動や相談体制の充実をより一層図っていく必要がある。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	13,379	11,499
事業費(千円)		932	1,089
人件費(千円)		12,447	10,410

02 女性の社会参画の推進

基本事業の目的

女性が働くための環境づくりや行政への女性の参加を促進するとともに、家庭や地域等さまざまな場面において、女性の社会参画を促進します。

対象（誰を対象とした指標か）

家庭、地域、職場、行政

意図（対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい）

行政・社会の場で女性の社会参画が促進される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き（成果指標）

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
女性が社会参画していると思う市民割合	%	51.5	51.5			↗
女性の審議会等登用割合	%	24.3	25.0			40.0

基本事業の達成状況（21年度）

基本事業の目的をあらわす指標の一つである、「女性が社会参画していると思う市民割合」については、前回と同数で小康状態にあり、今後も家庭、地域、職場等との連携を図りながら取組を進めていく必要がある。また、もう一つの指標である「女性の審議会等登用割合」については、前年度より2.0ポイント上昇した。審議会等については、一定期間の委嘱となることから、早急な改善は困難な状況にあるが、後期目標に向け、今後も改選期を中心に積極的な女性登用を関係部局に要請していく中で女性の社会参画の拡大を進めていく必要がある。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	0	0
事業費(千円)			
人件費(千円)			